

畜産みやぎ

発行所
 名取市増田字柳田379番地1
 社団法人 宮城県畜産会
 電話 (382-8133)
 編集発行人 大堀 哲
 定価 1部80円
 印刷所 (株)東北プリント



みやぎふれあい農業まつり'98 (H 10. 10. 24~25 勾当台公園他)

も く じ

- 21世紀に向けた生産基盤の拡充と販売機能構築を目指して…… 2
- 宮城県統合家畜市場の概要について…… 3
- 平成10年度生乳需給状況について…… 4
- みやぎふれあい農業まつり'98 開催報告…… 5
- 家畜防疫互助基金事業について…… 6
- 第70回日本養豚学会大会報告…… 6
- 平成10年度宮城県総合畜産共進会盛會裡に終了…… 7
- 第38回仙台牛枝肉共進会終了報告…… 7
- 牛の気持ちを考える優しい心…… 8
- 新人紹介…… 8
- 第16回和牛産肉能力間接検定成績…… 9
- 牛の乳頭炎……10
- 人の動き……10

21世紀に向けた生産基盤の拡充と販売機能構築を目指して

全農宮城県本部

平成10年10月1日にJA全農とJA宮城経済連が合併し歴史的な一歩を踏み出す新生「全農」が誕生いたしました。全国的には、宮城県をはじめ鳥取、島根県の三県でのスタートとなりました。

この合併は、平成3年のJA全国大会で決議された「事業・組織を原則二段とする組織整備」にもとづき、JAグループをとりまく環境の変化に対応すべく、経済事業の専門化・高度化・効率化を実現するため進めてまいりました。

JA全農みやぎでは、経済連、全農が蓄積してきたノウハウを有効に活用し、JAの高水準な事業機能の整備を促進するとともに、JAの補完機能を効率的に発揮しながら、二十一世紀に向けて、よりいっそう組合員に信頼される組織づくりを目指してまいります。

この全農との歴史的な合併を契機に、本県畜産事業の21世紀に向けた生産基盤の拡充を図るとともに、販売機能の強化により生産農家の経営安定を目指してまいります。

(1) 養豚

早期離乳分離（SEW）方式による繁殖・育成・肥育分離の新たな生産システム等の実証展示を踏まえ、肉豚生産をシステム別に体系化し本県養豚の特殊性（繁殖基盤）を考慮した基盤の再構築を図ってまいります。

また、系統豚「ミヤギノ」及び「ミヤギノクロス」の安定供給に努め、繁殖・一貫生産基盤（地域内一貫を含む）の維持、拡充を図るとともに、販売チャンネルの多様化に対応するため、SPF豚生産事業の定着と肉豚委託肥育事業の拡充に努めてまいります。

一方販売面では、生産基盤の再構築を促すとともに、生産農家の経営安定を図るため、付加価値の得られる商品開発（new宮城野豚）に取り組んでまいります。

また、販売店との提携による産地指定制度を拡充し、生産から販売までの一貫した流通体系を強化、充実に努めるとともに、衛生管理に重点を置いた食肉流通施設改善を促し、商品価値の向上を図ってまいります。

(2) 養牛

子牛生産振興を図り、繁殖農家の規模拡大を推進するとともに改良指導事業の強化により統合家畜市場への集畜拡大及び「仙台牛」の優良素牛供給に努めてまいります。

また、繁殖農家の労働力軽減を図り生産継続更には、規模拡大を促すため早期離乳分離（SEW）方式の技術確立を図り、集約施設利用による生産性と斉一性の高い素牛生産システムを導入推進に努めてまいります。

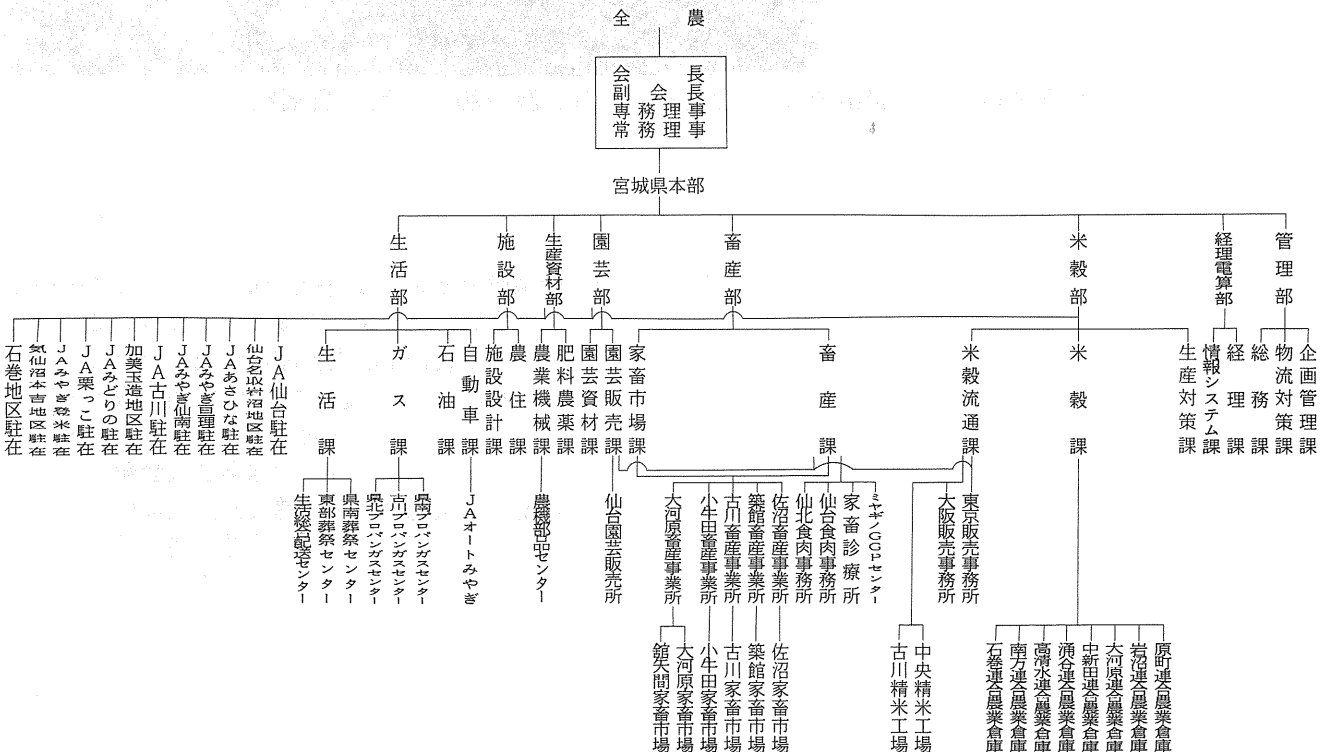
更に、肉牛生産基盤拡充のため、中核農家の規模拡大を推進するとともに、新システムと連動した事業構築を図り良質牛生産拡充に努め、「仙台牛」並びに「宮城野和牛」の確立を推進してまいります。

販売では、新家畜市場の電算システムと連動させた生産台帳の作成を行い、計画出荷を確立し広域流通の販売推進に努めてまいります。

また、「仙台牛」の地域生産組織を確立し、地域における基盤強化と地域銘柄（地域名の仙台牛）の販売確立に努めてまいります。

今後とも、本県の農業振興構築に全力をあげ取り組んでまいり所存でありますので皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
(畜産課長補佐 佐々木和明)

全農宮城県本部組織図



宮城県統合家畜市場の概要について

全農宮城県本部

長い間宮城県内の畜産農家が待ち望んでおりました家畜市場の統合が実現し、県内の子牛市場（7）、成畜市場（5）を統合した宮城県統合家畜市場が宮城県のほぼ中央部の小牛田町に完成いたします。

新市場は、宮城県の取り組みによって設立された「家畜市場再編整備推進協議会」で、JA宮城経済連が事業主体となって取り進めるようとの決定を受けて、国の平成9年度及び10年度の「家畜市場近代化総合整備事業」並びに平成10年度農畜産業振興事業団指定助成事業の「家畜市場機能高度化緊急対策事業」の助成を得て建設しております。

新施設は、10 haの敷地を利用して、大家畜・中家畜のつなぎ場、購買後の一時けい養畜舎を設置し、遠方からの買参者の利便を図っております。特に、2階から「セリ」の状況が見学出来る施設を設け、消費者の皆様の来場にも対応致しておりますので、畜産振興の一助になるものと思われまます。

なお、生産者の皆様には、従来は体重測定に時間を要しておりましたが、セリ直前に体重を測定し、セリ終了後は購買者のけい養舎に移動させれば帰宅可能となり、市場当日の時間が大幅に短縮されます。又、従来は搬入・搬出の際に、駐車場が混雑し大変ご迷惑をかけておりましたが、802台の駐車場を設置しますのでスムーズに搬入が出来るものと思われまます。

セリの状況は、電光セリ機をつなぎ場及びけい養舎にも設置しますし、モニターテレビを設置した出荷者控室等を設けますので、セリ場の混雑を極力無くすような工夫を考えております。

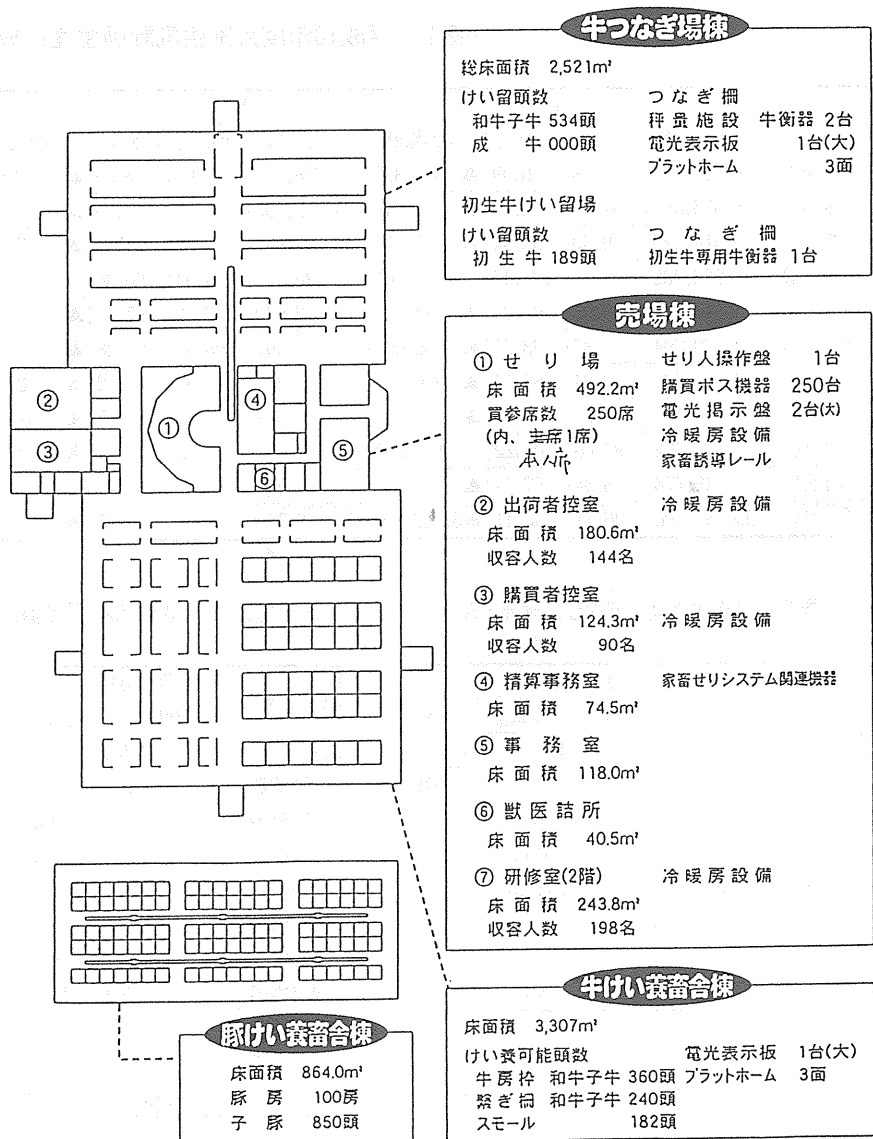
新市場の種類別開催計画は別紙の通りですが、黒毛和種の子牛は、基本的に毎月第3月曜日から木曜日に行う予定であります。

平成9年度の成立成績は、21,864頭で全国5位の成績でありました。購買者の分布を見ますと、隣の山形県はじめ遠く四国からもご来場をいただき、県外の方々に44.4%のご購買をいただいております。

新市場は平成11年3月中旬に完成し、4月7日の開設記念肥育牛共助会から運営を開始いたしますので、ご来場を心からお待ち申しあげ新市場の概要説明とします。

(畜産課長補佐 佐々木和明)

主要建物・施設の設置と規模



平成10年度生乳需給状況について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成10年度の生乳生産出荷目標数量は、対前年実績比100.3%で185,010 tですが、上期までにおける生乳生産量は90,167 tで対前年比96.61%となり大幅に落ち込みました。(別表1)

特に、ここ数年の傾向としてF1の種付け率の上昇等により後継牛が減少し、8月1日時点の本会による飼養頭数調査においても、経産牛が対前年比98.78%と大きく減少し、今後の生乳生産に大きな影響を及ぼすものと懸念されております。

一方、飲用向けについても景気の低迷や需要期の天候不順等を背景に対前年比95.30%となり、加工向けについても98.76%と前年を下回っており、全国的に同様の傾向がある中で上期については低位均衡型で推移しました。(別表2)

また、下期に向けての生乳需給の精度を高めるため10月下旬に各会員とのヒアリングを実施しました。

その結果、下期に向けて若干の生産回復基調にあるものの依然として低位で推移するものと予測され、現時点では県全体で約4,700 tの大幅な生産未達が見込まれており(別表3)、今年度から実施されております用途別計画生産についても、本県も含めて全国的にも大幅な未達が予測されております。

これにともない今年度の未達ペナルティーについて憂慮されるところでありますが、本会として現時点の未達見込み量を最小限に止めるためにも、下期の生産について更なるご協力をお願い申し上げます。

(販売課長 安部 強)

別表1 平成10年度月別生乳計画生産達成状況

(単位: kg, %)

Table with 12 columns: 生産者団体, 上期計 (受託乳量, 前年比, 計画比, 超過乳量), 10月分 (受託乳量, 前年比, 計画比, 超過乳量), 累計 (受託乳量, 前年比, 計画比, 超過乳量). Rows include various producer groups like 蔵王酪農, 宮城酪農, etc., and a total row.

別表2 平成10年度上期用途別販売実績

(単位: kg, %)

Table with 4 columns: 用途別, 乳量, 前年比, 構成比. Rows include 飲用向 (市乳向, 県外移出向, 学給向, 小計), 生クリーム等向, はっ酵乳等向, ナチュラルチーズ向, 加工向, and 受託販売乳量.

別表3 平成10年度会員別生乳計画生産超過・未達見込数量

(単位: トン, %)

Table with 7 columns: 生産者団体, 平成10年度出荷見込数量A, 前年度実績比, 平成10年度実績出荷目標数量B, 前年度実績比, 平成10年度超過未達見込数量A-B, 比率A/B. Rows include various producer groups and a total row.

平成10年10月29日現在

みやぎふれあい農業まつり'98 開催報告

宮城県畜産課

去る10月24日、25日の2日間、仙台市民広場、勾当台公園並びに県庁1階において「みやぎふれあい農業まつり'98」が開催されました。本年は「みやぎ大地の恵み共和国」をテーマに、県民に良質でおいしい県産農畜産物等をPRし、「宮城の農業」のメッセージを届けるため、盛りだくさんのイベントが企画されました。特に各会場を巡るスタンプラリーは、県産牛乳1年分、仙台牛や宮城野豚などの豪華景品が当たるといことで大好評でした。主な概要は下記のとおりです。

第1会場（市民広場）

- ①みやぎ米まつり
 - ・朝食、朝ごはん、お弁当キャンペーンイベント
 - ・おいしい顔集まれ！写真コンテストコーナー
 - ・新米試食・販売コーナー
- ②みやぎ手作り味まつり
 - ・農産加工者連絡協議会会員による販売など
- ③JAコーナー
 - ・「ミートン号」での仙台牛、宮城野豚の販売
- ④その他
 - ・新規就農者、宮城県園芸協会などのコーナー

第2会場（勾当台公園）

- ①ナチュラルチーズフェア（第12回ミルクランドフェア）
 - ・MOOシアター
子供向けのアトラクションなど
 - ・チーズ博物館
全国のチーズ展示、試食、ききチーズ大会
 - ・カルシウムチェックセンター
骨密度の測定とパソコンを使った牛乳クイズ
 - ・ミルク幸せクッキングスクール
牛乳乳製品を使った料理講習会、試食会など
 - ・グローバルコミュニケーションホール

- ドイツ、ルーマニア、フランス、タイの料理
- ・ミルク美術館（知識普及コーナー）
牛乳製品の商品展示、宅配牛乳紹介など
- ・フレッシュマーケット
県内乳業メーカーによる牛乳乳製品の販売
- ・ふれあい動物ランド
ポニー乗馬、羊・兎・山羊とのふれあい会場

第3会場（県庁1階フロアー、同駐車場）

- ①県庁前駐車場
 - ・農業実践大生産物販売コーナー
 - ・4Hクラブコーナー
 - ・宮城県食品工業協議会コーナー
 - ・NOSA Iコーナー
- ②県庁1階フロアー
 - ・農林産物品評会
 - ・試験研究紹介コーナー（畜産試験場など）
 - ・中山間地域活性化とグリーンツーリズム
 - ・守り伝えよう、そして育てよう宮城の農業農村

会期中は好天に恵まれ、両手に抱えきれない程の荷物を持った来場者の姿が数多くみられ、会場を訪れた人は出来秋の宮城県の農畜産物にご満悦の様子でした。（畜産流通係 鈴木 徳彦）



KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業

コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話 (022) (237) 7441 番代

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。

ビヒダス
きたまま腸までとどきます。

ビヒダス
ヨーグルト 500ml
宮酪乳業株式会社
名取市殿野坂五丁目1番3号
電話 (022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 電話 (263) 7688

家畜防疫互助基金事業について

宮城県畜産課

平成5年以来、全国的に発生を見ていない豚コレラに対し、ワクチンを使用しない防疫体制を確立するために、平成8年度より「豚コレラ撲滅体制確立対策事業」がスタートし、平成12年度末を目標にワクチン接種を中止することになっています。

そのために、本県では「豚コレラ防疫対策要領」に基づき本事業を展開し、野外ウイルスの存在を否定するために、抗体調査成績等を蓄積することとしております。ワクチン接種中止後における、豚コレラの再発に備えての補償体制を整備するために、平成10年度から平成14年度までの5ヶ年間、全国家畜畜産物衛生指導協会を事業実施主体として「家畜防疫互助基金造成等支援事業」を実施することになりました。その内容は5年間で農畜産振興事業団からの補助金及び生産者自らの積立金で相互補償体制を構築するとともに不幸にも豚コレラが発生した場合、発生農場及び移動制限区域内の農場に対して、家畜伝染病予防法による殺処分手当てでは補償されない部分、「豚を殺処分することで、遺失した所得を補うとともに、最低限の生活を維持し、新たな豚を導入して経営を再開するために必要な資金」について所得支援をする事業であります。1年当りの生産者積立金は、繁殖用種豚で1,250円、と畜場に出荷される肥育豚で80円となっております。また、交付金については、3種類に区分されており、①とう汰互助金（¥11,000～¥140,000）、②導入互助金（¥4,000～¥28,000）、③焼却：埋却等互助金（¥4,000）が、発生時の状況に応じて交付されます。

なお、詳細につきましては最寄りの家畜保健衛生所又は、農林振興事務所畜産振興部まで御問い合わせ下さい。

(衛生係長 川村 芳夫)

第70回日本養豚学会大会報告

宮城県畜産課

第70回を迎えた日本養豚学会大会が、10月22日と23日の両日仙台サンプラザで開催されました。

この大会の本県での開催は、昭和51年以来23年ぶりのことですが、その間県内の養豚農家数は十分の一以下に減少し、逆に一戸当たりの飼養頭数は十倍以上に増加するなど多頭化が顕著になって様変わりしており、隔日の思いをされた方も多かったようです。

大会は、一般研究発表24題、特別講演として大野畜産課長の養豚を中心とした“宮城県の畜産事情”、公開シンポジウムでは“21世紀を目指した我が国の養豚戦略”をテーマに4名の発表があり、盛り沢山の内容で、参加者は発表や講演に対して熱心に耳を傾け、討論会では活発な討論がなされました。

この大会の参加者には二日間で212名と地方大会としては最大級の規模となり、大会1日目に開催された懇親会では、ミヤギノポークの試食会、雀踊りなどのアトラクションを交えながらなごやかに全国の養豚研究者の交流が行われ、明日の日本の養豚を熱っぽく語り合う場となっていました。

また、今回の大会は、宮城県養豚研究会の研究集会も兼ねたもので、県内養豚生産に携わる技術者、研究者そして生産者にとっても大変意義深い大会となりました。
(家畜改良係長 渡部 正樹)



特別講演会

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス
牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連

正統の育ちと味

仙育牛

仙育牛®

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16岩城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50

WORLD トラクター

五十嵐商会

株式会社

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

平成10年度宮城県総合 畜産共進会盛會裡に終了

宮城県畜産会

宮城県畜産会主催による農林水産祭参加平成10年度宮城県総合畜産共進会は、去る9月9日～11日宮城県食肉流通公社で肉豚部門を、9月19日～20日小牛田家畜市場で乳用牛、肉用牛部門とそれぞれ開催し盛會裡に終了しました。

本共進会の目的は家畜の改良と飼養技術の向上を通じ健全な畜産の振興を期するところにあります。今年度の出品もこれらの点を十分理解され地域の代表にふさわしい優れた出品畜でありました。

また、消費者との交流を深めるため農畜産物等の展示即売や抽選会など各種イベントも同時に開催し好評を得ました。なお各部の受賞者は下記のとおりです。

《名誉賞受賞者一覧》

乳用牛の部

第4区(生後18カ月以上21カ月未満)

築館町 砂金 篤孝

第7区(3才以上4才未満)

金成町 五十嵐忠孝

肉用牛の部

第3区若雌の3(生後17カ月以上20カ月未満)

南方町 遠藤 敏

第6区経産の2(生後4才以上)

米山町 大立目敏夫

第7区父系4頭群(生後14カ月以上20カ月未満)

登米郡和牛育種組合

肉豚の部

第1区ミヤギノ交雑豚

迫町 但木 修

第2区(第1区以外)

登米町 木村つづ子

第38回仙台牛枝肉共進会終了報告

全農宮城県本部

農林水産祭参加第38回仙台牛枝肉共進会は、11月8日～11日の4日間仙台中央卸売市場において開催され、盛會のうちに終了しました。

〔チャンピオン牛一覧〕

(第1部)

黒毛和種去勢の部(30ヶ月未満)

出品者:石崎琇一(JAみやぎ登米)

血統:父 第2波茂

母の父 茂 勝

規格A5 枝肉重量 448.5kg

枝肉単価 4,651円

(第2部)

黒毛和種去勢の部(30ヶ月以上)

出品者:佐野和夫(JAみやぎ登米)

血統:父 安福165の9

母の父 茂 重波

規格A5 枝肉重量 457.5kg

枝肉単価 5,016円

(第3部)

黒毛和種雌の部

出品者:加藤一男(JA名取市)

血統:父 秋 重

母の父 菊 谷

規格A5 枝肉重量 380.0kg

枝肉単価 5,004円

(畜産課長補佐 佐々木和明)

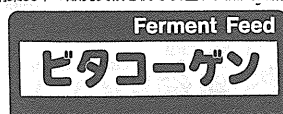


畜産振興の明日を 担う地方競馬



地方競馬全国協会

●効能……粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

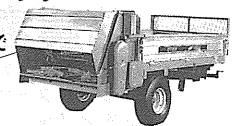


株式会社セイフ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL(022)215-3112
FAX(022)213-7190

STAR STAR-農業機械

マニュアルフレッタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクヒール)

STAR-農機株式会社 仙台営業所
〒985-0845 多賀城市町前2丁目87 TEL022-367-4573

実践大学校生の抱負

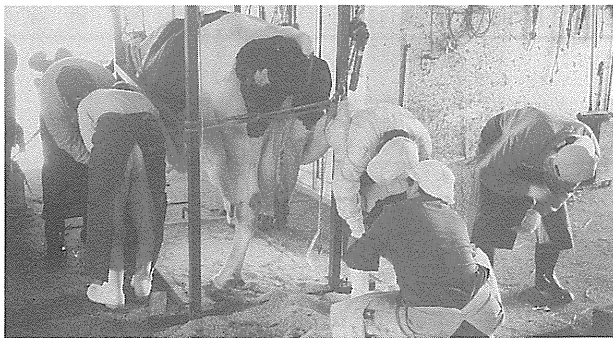
牛の気持ちを考える優しい心

畜産学部2年 山崎 高寿

農業実践大学校畜産学部の2年生は毎年、牛の削蹄師資格取得を前提とした授業があり、今年も僕達の年でした。講師には、削蹄の全国大会で優勝したこともある高橋先生と高橋先生の弟子で、僕達の先輩でもある遠藤さんにも教えて頂きました。

牛の人工授精では、試験に合格していたので、牛のことを少しは知っているつもりでしたが、蹄の状態や姿勢・鎌の運刀法となると全く知識が無く、削蹄の基本を理解するだけで精一杯でした。僕は、馬の足上げは前にもやって出来たので、牛でも少しは自信がありました。しかし、牛にとって足を上げることは、半年に一回の削蹄の時くらいしか機会が無く、ましてやこんな素人に楽に上げさせてくれる訳がありません。高橋さんにも「保定がしっかり出来なければ、自分がケガをするだけだ。」と厳しく言われていたので、みんな必死で何度も練習しました。やっと保定が出来るようになると、今度は鎌をスムーズに運ばなくて苦労し、あまり一本の足に時間をかけると、牛が飽きてきて、足を上げる事すら嫌がる始末です。本当に削蹄という仕事の大変さと大切さを強く感じました。このことは、恐らく僕1人ではなく、他のみんなも同じ事を感じたことでしょう。

いかに牛に負担を与えずにスムーズに仕事が出来るか。これが大きな鍵を握っていることは知ることが出来たので、「後は経験と牛のことを優しく思いやれる心が持てれば、僕達でも十分削蹄が出来る。」と教えてくれた高橋先生には心から感謝しています。一生懸命に努力して、一つの目標を大成することの大切さにも改めて気付くことが出来たので、今ではどんなことでもやってのけられる自信があります。本当に毎日が悪戦苦闘の連続でしたが、この貴重な経験は、学生時代の最高の勲章としていつまでも自分の中で輝き続ける事でしょう。



新人紹介

宮城県畜産試験場

乳牛科 小林 宏子



本年度4月より畜産試験場に勤務しております、小林と申します。私は生まれも育ちも千葉県で、実家は養鶏業をしております。幼少の頃より畜産の現場を見てきた訳ですが、このたび試験研究を行なう側に回ることになりました。

畜産試験場では酪農肉牛部乳牛科に所属し、乳用牛の試験研究を担当しております。これまで大学では実習程度しか牛に関わっていなかったため、牛について改めて勉強し直したり、現場の職員の方からも乳牛や試験研究について色々とお教わることの多い毎日です。

少し話はそれますが、私は馬が好きです(ただし、競馬はよくわかりませんが)。ここ宮城県もかつては馬産地であったと聞いています。地図を見ると、確かに馬にちなんだ地名が多く見られますし、ばん馬大会はこの半年間で2回(涌谷と栗駒へ)見に行きました。先日の後期新任研修では、県の心身障害者援護施設である「舟形コロニー」において、乗馬療法を取り入れた訓練を行なっていることを知り、宮城県で再び馬を活用できる道が開けてきたと嬉しく思いました。農耕や荷物運びなどで馬を使役する時代は終わってしまいましたが、今後は人間の良き伴侶として活躍していくと思います。

私自身も乗馬は好きですが、未だに初心者レベルなので、もう少しうまく乗れるようになりたいと思っています。

このような馬キチの私も、毎日乳牛に接するうちに乳牛をかわいと思うようになり、また試験研究もいよいよ本格化してきました。皆さんの叱咤激励を受けつつ、1人前の研究員となるべく頑張りたいと思いますので、御指導よろしく願いいたします。

ORION
ともに前進 技術のオリオン

酪農家の
声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社
本社 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68号(022)284-0691
宮城営業所 吉川市新田字泉原59-4
〒959-6226 TEL(0229)26-4330

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤
フロントラインスプレー 新発売

動物用医薬品
ビタミンE・セレン配合ミネラル固形塩
鉱塩E100

東北ゼンヤク株式会社
〒981-3361 宮城県黒川郡登谷町あけの平2丁目31-5
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

TCM **スーパージョイター**
世界トップレベルの超低騒音

67dB(A) Clear

TCM 東北ディー・シー・エム株式会社
本社・工場 仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字葉畔135-1
TEL (022) 259-6351(内)

<畜試便り>

第16回和牛産肉能力間接検定成績

宮城県畜産試験場

この度、第16回和牛産肉能力間接検定が終了したので、その概要について報告します。

今回受検した候補種雄牛は「波庄」、「豊波」、「国糸」、「茂糸桜」の4頭です。

検定期間は、波庄、豊波が平成9年8月12日～平成10年8月11日、国糸、茂糸桜が平成9年10月21日～平成10年10月20日(364日間)でした。

<波庄>

父は第2波茂(宮城・遠田)、母の父は茂重波(兵庫・美方)、母の母の父は第17山岡(広島・神石)で生産地は栗原郡一迫町(門田庄二郎さん生産)です。

直接検定および間接検定の成績を表-1、表-2に示しました。

間接検定の成績で発育の早さを表すDG(1日当たり増体量)は0.74kg、枝肉からの部分肉歩留まりの指標とされるロース芯断面積は43cm²、ロース芯への脂肪交雑は1.8と過去の成績と比較し劣っていた。

<豊波>

父は第2波茂(宮城・遠田)、母の父は南波竹(宮城・遠田)、母の母の父は安美金(兵庫・美方)で生産地は登米郡東和町(及川隆志さん生産)です。

間接検定の成績はDG0.80kg、ロース芯断面積47cm²、脂肪交雑2.0であり、DGおよびロース芯断面積は平均的であったが脂肪交雑で劣っていた。

表-1 和牛産肉能力直接検定成績

種雄牛 名号	生年月日	生産地	母方父牛	母方祖父牛	1日平均	365日齢	TDN	粗飼料 接種率
					増体重 (kg/日)	補正体重 (kg)		
波庄	H5.11.10	一迫町	第2波茂	茂重波	1.22	403.1	4.30	32
豊波	H6.1.20	東和町	第2波茂	南波竹	1.24	448.8	3.98	33
国糸	H6.5.3	米山町	茂糸波	安美金	1.34	453.0	3.87	32
茂糸桜	H6.4.4	桃生町	第7糸桜	茂重波	1.29	420.2	4.16	31

<国糸>

父は茂糸波(宮城・登米)、母の父は安美金(兵庫・美方)、母の母の父は茂重波(兵庫・美方)で生産地は登米郡米山町(中沢孝雄さん生産)です。

間接検定の成績はDG0.80kg、ロース芯断面積44cm²、脂肪交雑2.4であり、DGは平均的であったがロース芯断面積および脂肪交雑でやや劣っていた。

<茂糸桜>

父は第7糸桜(島根・仁多)、母の父は茂重波(兵庫・美方)、母の母の父は第7糸桜(島根・仁多)で生産地は桃生郡桃生町(吉田映さん生産)です。この牛は、島根県から譲り受けた「第7糸桜」の精液を活用し受精卵移植技術によって作出されました。

間接検定の成績はDG0.81kg、ロース芯断面積46cm²、脂肪交雑3.3であり、DG、ロース芯断面積は平均的でしたが脂肪交雑で優れていました。

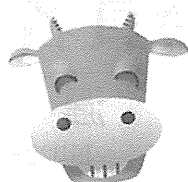
この4頭の候補種雄牛については、今回の間接検定成績に基づき、次回の宮城県肉用牛改良委員会において検討され基幹種雄牛となる牛が選抜されます。

なお、前回第15回の間接検定受検牛の中から「宮福茂」と「菊宗」が選抜され、来年4月から供用開始の予定となっています。

(肉牛科長 織江 貞二)

表-2 和牛産肉能力間接検定成績(平均値)

種雄牛 名号	供試頭数	近交率	旧種係数	増体重	枝肉歩留	枝肉歩留	ロース芯断面積	脂肪交雑	脂肪厚	推定歩留	枝肉等級
名号	頭数	(%)	(%)	(kg)	(%)	(%)	(cm ²)	(%)	(mm)	(%)	
波庄	11	6.6	0.74	292	57.5	43	5.5	1.5	4.6	1.8	73.7 A5-3,A4-1,A3-2,A2-5
豊波	9	6.4	0.80	298	56.8	47	5.4	1.8	4.5	2.0	73.8 A5-2,A4-3,A3-4
国糸	7	6.0	0.80	305	57.2	44	5.5	2.0	5.4	2.4	73.3 A5-3,A4-3,A3-1
茂糸桜	11	5.0	0.81	302	55.8	46	5.2	1.3	4.4	3.3	74.0 A5-8,A4-2,A3-1
宮城県(第7回~16回)	0.81					47				2.6	
全国(平成8年度)	0.89					47				2.4	



肉の日
毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133

<衛生便り>

牛の乳頭炎

仙台家畜保健衛生所

乳頭炎は乳頭の炎症であり、乳牛に多発します。一般には、様々な外傷から細菌の2次感染により漿液性ないし化膿性の乳頭炎を起こします。乳頭炎は、乳房炎から波及することもあります。乳頭炎が起こることにより、乳管の肥厚・狭窄や痛みを伴うものでは、搾乳が不完全になったり、乳房炎の発生などを助長することになります。このように乳頭炎に陥った乳牛は、淘汰の対象となり、経済上重要な問題となります。

現在、原因がわかっているものとしては、牛ヘルペスウイルス2型による牛潰瘍性乳頭炎(世界的に注目)、偽牛痘、牛痘、口蹄疫、水疱性口炎などがあります。偽牛痘を除いて、これらの疾病は、現在日本での発生はみられていません。しかし、近年畜産物や種畜の流通が国際的になり、これらの疾病が日本へ侵入する可能性が十分に考えられることから注意が必要です。

最近になって、宮城県内で牛潰瘍性乳頭炎に類似した疾患が乳牛において散見されています。この疾病は、初産牛に多く、分娩前後に認められる傾向にあります。症状は、食欲不振、乳房の浮腫、後躯のむくみ等が認められます。乳頭には水疱が形成され、後に破れ潰瘍や痂皮が形成されます。乳房炎を併発するものも多く、予後の悪いものは廃用になります。

同様の疾病が、北海道、千葉県、岡山県、長野県で報告されています。本県およびこれらの事例においては、牛ヘルペス2型ウイルスは分離されず、牛伝染性鼻気管炎(IBR)や偽牛痘の関与が示唆されましたが、原因の特定には至っていません。

本病は、予後不良となることが多いことから、早期発見が重要となりますが、特に育成期から初産分娩までの観察を十分に行い、もし異常に気づいたら、

搾乳は最後に回し、過搾やミルクカーの取扱いに留意しなければなりません。また、診断においては、病変の初期、特に水疱形成期のウイルス分離検査および生検材料の採取が重要となりますので、最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

(病性鑑定課 高橋 伸和)

<人の動き>

全農宮城県本部

平成10年10月1日付け

Table with 3 columns: 氏名, 新, 旧. Rows include: 大森 芳彌 (県副本部長), 川村 勝司 (県副本部長), 徳能 利夫 (管理部付), 吉岡耕三郎 (管理部付), 安部 俊也 (畜産部付), 太宰 仁 (畜産部家畜市場課), 高橋 一雄 (大河原畜産事業所次長), 上野 新英 (畜産部家畜市場課), 伊藤 信行 (小牛田畜産事業所), 櫻井 弘幸 (佐沼畜産事業所).

(社)宮城県畜産会

平成10年10月1日付け

Table with 3 columns: 氏名, 新, 旧. Row: 吉岡耕三郎 (事務局次長).

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

Table with 2 columns listing members: (株) タ ッ ク, (株) エ シ ン, (株) ト シ ン, (株) 美 濃 谷, 小田島商事(株), (株) ニ 手 エ 一.